

普通高校のインターンシップの現状 —白根高校—

I インターンシップ(就業体験)とは

インターンシップとは、高校生や大学生が一定期間企業や事業所において、実際に仕事を体験することです。この点において高校生と大学生のインターンシップに大きな違いがありません。

しかし、高校生のインターンシップは、企業(事業所)が産学連携により高校教育への援助・協力として、実施する点に大きな特徴があります。



【病院での実習に励む女子生徒】

II インターンシップが必要とされる背景

近年、若者の勤労観・職業観の変化、職業人としての責任感や使命感の欠如などの職業意識の希薄化が指摘されています。高卒の場合でも例外ではなく、就職して3年以内に、明確な目的を持たないで転職する率がおよそ50%もあり、定着率や勤労意識の低下が見られます。



【スポーツクラブで受付をする男子生徒】

このため、子どもたち一人ひとりに望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるため、各学校段階においてキャリア教育が求められるようになりました。高校においてもキャリア教育の一環としての自覚を持たせ、望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるため、企業(事業所)などでのインターンシップの実施が必要となっています。



【児童館で幼児のブロック遊びを補助する女子生徒】

III インターンシップに期待されること

次に示すような事項は、学校教育だけでは会得しがたい事項です。これらを、短期間のインターンシップだけで全て体得されることも難しいでしょう。

しかし、この体験をきっかけに、社会への目が開かれ、学ぶ意識が生まれてきます。インターンシップは社会人としての自立の第一歩なのです。このようなことから教育関係者はもちろん、高校生をもつ親からもインターンシップの効果に大きな期待を寄せられています。

- 1 進路選択の育成
- 2 勤労観・職業観の育成
- 3 社会人としてのマナーや言葉遣いなどの習得
- 4 社会人としてのコミュニケーションの在り方を学ぶ
- 5 地域社会の一員としての認識と地域社会との関わりの学習

幼・小と連携した 出張ものづくり教室 = 韮崎工業高校 =

8月2日(火)に韮崎市立児童センターにて、
韮崎工高生による『チョコQものづくり教室』
が開催されました。この教室は、毎年行っており、
大変好評を得ているとのこと。

この事業は、平成14年から、近隣の自治体・
学童保育・公民館等の依頼が多数あり、特に夏休みを利用して、
始められました。



【始めのあいさつ・先生2名と男子生徒3名】

韮崎工高のねらい

1 本校と幼・小・中生との連携を推進し、
環境教育・情報教育・ものづくりなどの体験学習を通じて、
生命・自然を大切にする心を育むこと。



【熱心に指導する韮工生】

2 専門高校の生徒が、学んだ学習内容を主体的に教えることにより社会性を身に付けるとともに、
専門高校における学習内容の深化と学習意欲の向上を図ること。



【ポンドを乾かすため息を吹きかける小学生】

3 幼・小・中の子どもたちが、体験学習を通して科学的・
技術的分野に興味・関心を持ち、学ぶことへの意欲を高め、
生命・自然を大切にする心を育むこと。



【参加最年長の小5生に教える韮工生】



【完成した「チョコQ」】

平成23年度 『中北.com』 No.3
編集・発行 中北教育事務所地域教育支援スタッフ
〒407-0024 韮崎市本町4-2-4
電話 0551-23-3008
ファックス 0551-23-3013

『中北.com』は中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。
アドレスは次のとおりです。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>